

護憲・改憲訴え熱く 憲法記念日 中区で集い

憲法記念日の3日、広島市中区で日本国憲法をテーマにした集会や街頭活動があった。多くの市民が、護憲と改憲それぞれの立場から考えを主張した。

憲法を守る広島県民会議など4団体が広島YMCAで共同開催した集会では、山口大の額部厚副学長(政治学)が講演した。「今こそ青年層や無党派層に届く、新たな護憲論の展開が必要だ。被爆地広島をその運動の中心にしよう」と訴えた。

広島商工会議所ビルでは、国連訓練調査研

究所(ユニタール)広島事務所の会議があった。24条(両性の平等)起草に関わった米国人女性の故ベアテ・シロタ・ゴードンさんの長女ニコル・ゴードンさん(59)がインターネット中継で「日本国憲法

は他国もモデルにすぎた」とのメッセージを届けた。

市民団体「どうするんや憲法!!」広島青年ネットワークは本通り商店街周辺で、9条改正の賛否を問うシール投票をした。賛成に投票したパソコン修理業

賀村庫二さん(61)は「中国や北朝鮮の脅威を考えると、抑止力としての軍隊が必要だ」と話した。

市民団体「日本会議広島」は、市まちづくりに市民交流プラザで憲法フォーラムを開いて中継した。

緩和するための96条改正を訴える東京でのイベントをインターネット(和多正憲、根石大輔)

4 May 2013, Chugoku Shinbun
Hot discussion to support or to amend
the existing Constitution on the
Constitution Memorial Day
Roundtable held at UNITAR Hiroshima
Office by inviting Ms. Nicole Gordon, the
daughter of Ms. Beate Shirota, who
involved in drafting the Constitution of
Japan